



みんなの森 復権へ

日本の国土の約7割が森林です。かつての日本は、森の恵みがあふれ、森は人の暮らしのそばにありました。が、次第にその足も心も、遠のいていきました。荒れる森は人に害となる、命を育む水源や生態系を守る、森を活かさないともったいない——わかっていても、現実には難しい。近くて遠い森にどう近づくか。チャレンジの積み重ねが、どういう未来を作るか。森で何を学ぶか。国民に一律の「森林環境税」が課せられた今年、我が事として、改めて森について考えてみませんか。

南三陸町 慶應の森（釣瓶山）
—ノ瀬友博研究室撮影

慶應義塾 協生環境推進ウィーク 2024

基調講演

「みんなの森」の復権へ



齋藤暖生（さいとうはるお）

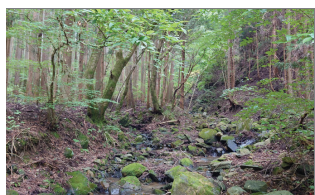
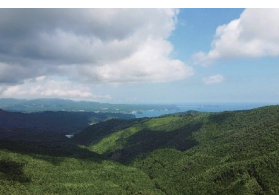
東京大学大学院農学生命科学研究科
附属演習林樹芸研究所長

学生活動報告@慶應義塾学校林

◎みなさん mirai プロジェクト2期生
(慶應義塾未来先導基金・南三陸プロジェクト)

◎塾生会議 プロジェクト#4
(「慶應の森についての情報開示」プロジェクト)

2024年12月9日（月） 18:15～20:00



詳細はこちら

会場：慶應義塾大学三田キャンパス 東館 G-Lab
参加：無料・対面・どなたでも（登録制 ※左のQRコードよりお申し込み下さい）
主催：慶應義塾協生環境推進室
企画：慶應義塾未来先導基金・南三陸プロジェクト

森からの
プレゼント
配布予定